

日本一健康優良学校

芳野公民館の敷地内に「健康日本一」と刻まれた大石の台座に、桃太郎の誕生をモチーフにした銅像を置いた記念碑があります。この記念碑は、かつてこの地にあった芳野小学校が昭和四一年（一九六六）に日本一健康優良学校に選ばれた榮譽を記念して設置されたものです。

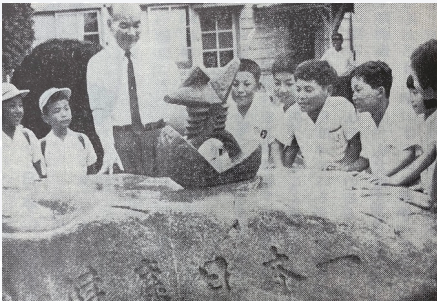
健康優良学校表彰制度は、昭和五年から朝日新聞社の主催で児童個人に表彰されていた健康優良児童表彰制度に、昭和二六年から学校表彰の部門が新設されて始まったもので、一種のコンクールではあるものの、



健康日本一の記念碑



芳野小学校（昭和39年頃）



坂手一郎校長と児童（『芳野校史』より）

敗戦後の学校における健康教育の位置づけを明確に打ち出しました。

昭和三〇年、芳野小学校に着任した坂手一郎校長は、「人間としてたぐましい人間づくり」を教育目標に掲げ、健康を柱にして教育経営に取り組みました。その結果、昭和三一年度から三三年度まで岡山県健康優良学校として、三四年度から三六年度には小規模校岡山県一位の健康優良校として連続で表彰され、この年ついに中央審査の対象となり、中央審査委員による実地検査が行われることになりました。審査委員は国立

東京第一病院栗山院長、東京教育大学桂教授、同平井助教授、東京歯科大学竹内教授の四名で、審査は九月二七日の午前八時の朝礼から始まり、健康観察、児童の研究発表、児童との話し合い、児童の保健組織活動、給食などの学校生活を視察しました。この審査の結果、一位になることはできませんでしたが、全日本特選健康優良学校として表彰されました。

その後も、より充実した教育をめざして、学校・家庭・社会を通じての児童の生活指導を重視した研究が重ねられ、昭和四一年度に再び中央審査委員の実地審査の対象校に選ばれました。十月四日の実地審査の委員は、前回来校した桂委員と平井委員の二名で、前回同様の審査が行われ、その結果は東京で開催された中央審査会に諮られ、芳野小学校は特選健康優良学校に選ばれた小規模校五校のうちトップにあげられ、ついに宿願の健康優良学校日本一になりました。

十一月三日の表彰式には、校長、児童代表、父兄代表の三名が上京し、美土路昌一会長（朝日新聞社社長・津山市出身）より表彰状、表彰旗、楯が贈られました。

そして一行が帰着した五日は、津

山駅前で六年生の鼓笛隊による芳野校マーチの演奏で迎えられ、院庄からは学校までの約二kmの道のりを鼓笛隊を先頭に児童達と共に沿道の人々から拍手や歓声で迎えられて学校へと凱旋しました。当時の児童の作文には、この時の喜びを「日本一の旗や楯にはじまないように、努力していこう」「みんなのいる所では、むねをはっていばれる気がする」「こんなうれしいことは、もうないかもしれない」「町長さんやぎいんさんが、つぎつぎに話をするのでたいくつしました。でも、日本一になったのだからがまんしなければと思います」と、それぞれが子供らしい表現でこの受賞をとて誇らしく感じていたことが伝わってきます。

そして翌年、冒頭で紹介した記念碑が設置されました。文字は美土路昌一会長の手によるもので、銅像は吉原出身の彫刻家・坂手讓氏が制作し、七月一六日に除幕式が開催されました。

「健康のまち鏡野」の原点はここにあるのかもしれない。

参考資料：『芳野校史』『よりよき学校像を求めて』

鏡野町教育委員会 生涯学習課 日下
電話(0868)54-7733